

第Ⅰ部 原始・古代
第2章 律令国家の形成
1 飛鳥の朝廷

教科書 P.34～37

今回の学習範囲

1. 東アジアの動向と蘇我氏の台頭
2. 厩戸王(聖徳太子)の改革
3. 飛鳥の朝廷と文化



1. 6～7世紀、動乱の東アジア

朝鮮半島では高句麗の圧迫で百済と新羅が加耶諸国を併合。
中国では589年に隋が南北朝を統一して、高句麗と三度交戦。



7世紀初頭の東アジア

問 教科書 p34～p37と資料集 p 47-53を読んで、以下のテーマについて説明しなさい。

1. 6世紀前半、…ヤマトの外交政策を説明しなさい。

伽耶の
危機！

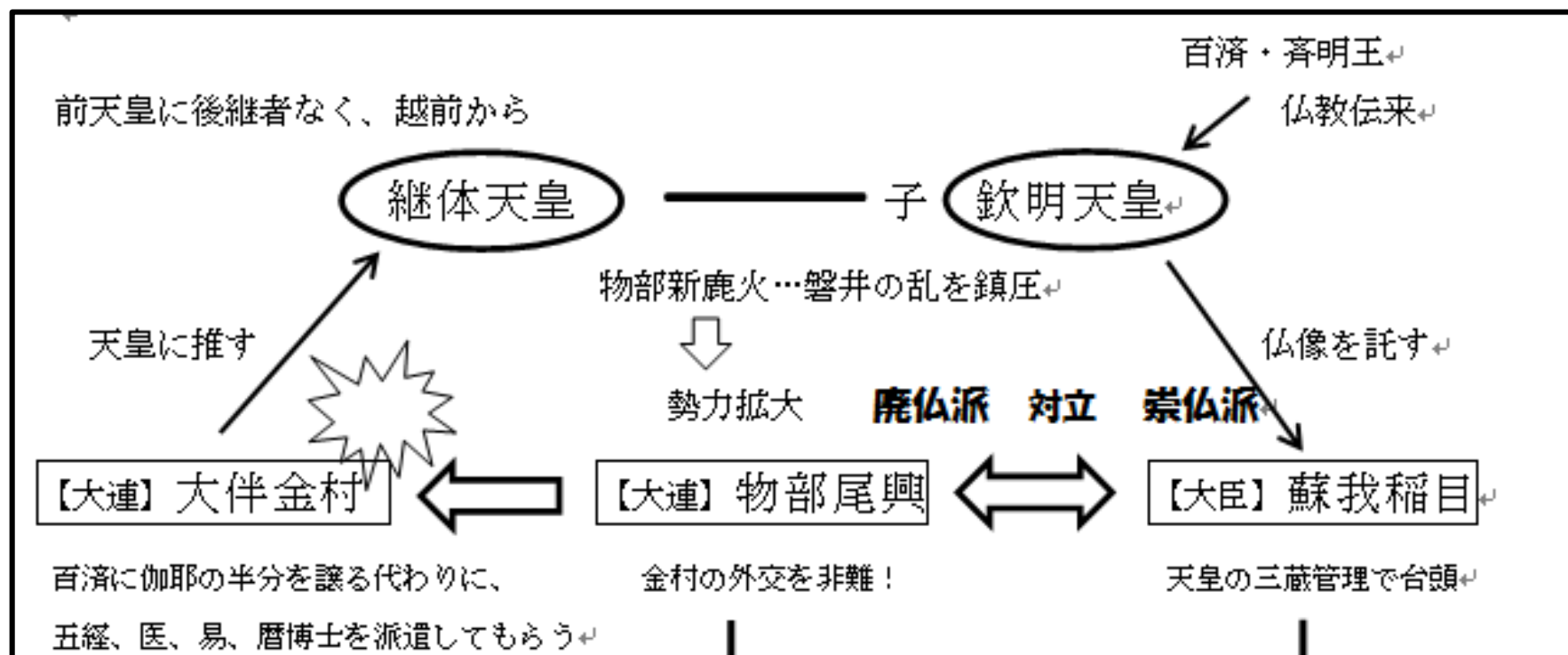


対新羅：伽耶救援のためヤマト軍。だが…

527年 筑紫君国造磐井の反乱！

→伽耶救援に失敗

対百済：大伴金村、百済との同盟優先→伽耶滅亡



1. 6世紀の東アジアの動乱のなか、ヤマト王権の外交政策を説明しなさい。

加耶存亡の危機に対して、

①対新羅…【ヒント】倭は、……しようとしたが、……のために失敗した。

②対百済…【ヒント】倭は、……したため、……した。



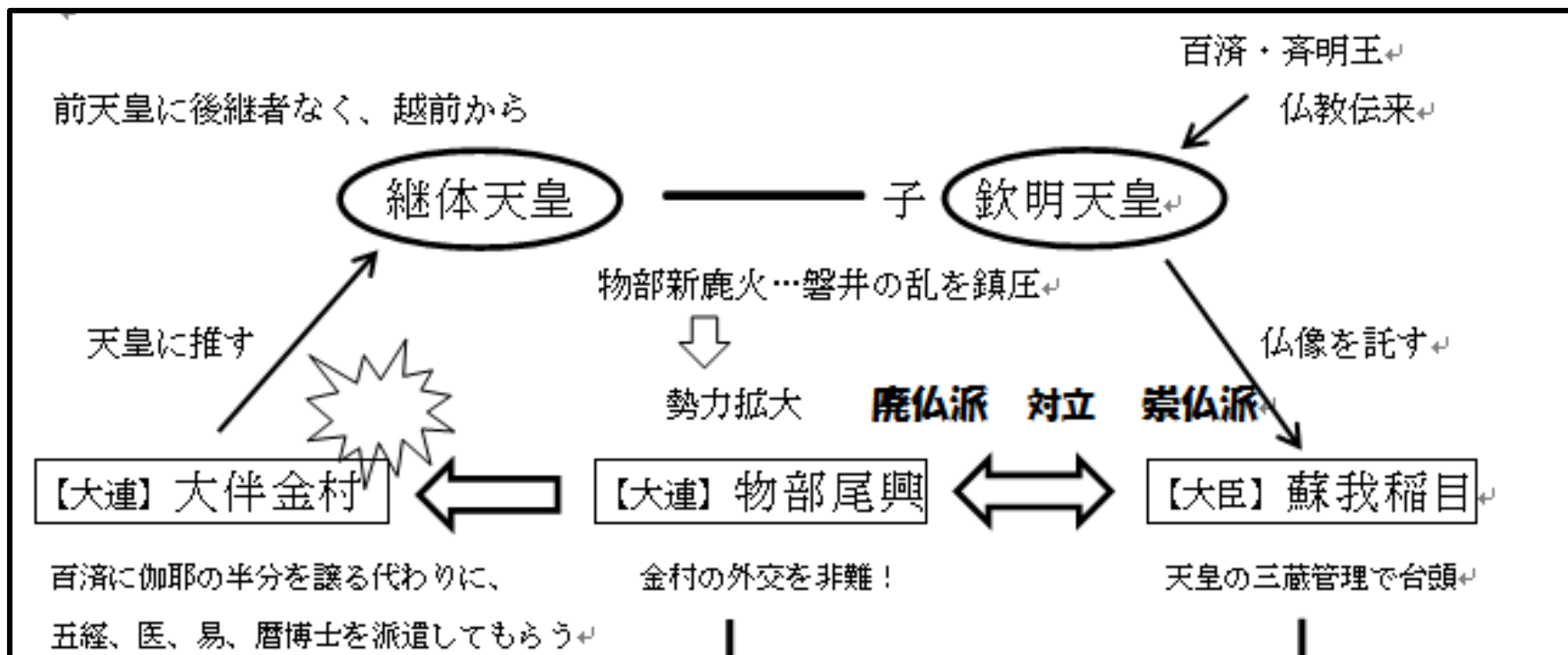
2 ヤマトの豪族の争い

6世紀初めに政治を主導した（ア**大伴金村**）は朝鮮半島政策をめぐり失脚し、6世紀中頃には（イ**物部**）氏と（ウ**蘇我**）氏が争った。

物部尾輿・守屋
廃仏派

崇仏論争
(仏教受容をめぐる争い)

蘇我稲目・馬子
崇仏派



3 蘇我馬子の台頭と推古朝

蘇我馬子は政敵を倒して権力を握った。（エ**推古天皇**）が即位すると**厩戸王(聖徳太子)**は馬子らと協力して国家組織の形成を進めた。

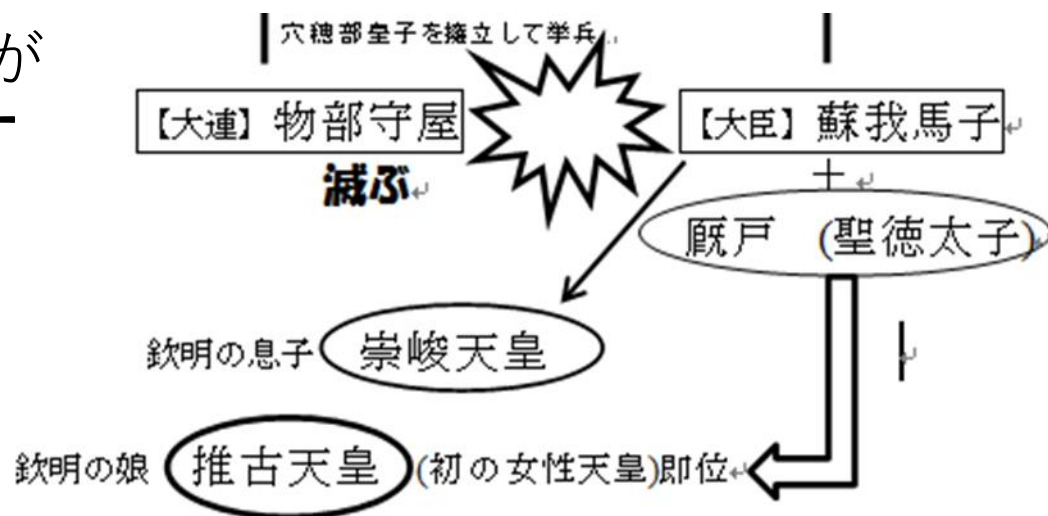
587年：蘇我馬子(大臣)らが
物部守屋(大連)を滅ぼす

↓
崇峻天皇が即位

592年：蘇我馬子(大臣)が
崇峻天皇を暗殺

↓
推古天皇が即位(日本初の女帝)

593年：**厩戸王(聖徳太子)**が蘇我馬子(大臣)と協力して
政治改革を開始



1 冠位十二階の制定(603年)

氏族ではなく個人に冠位を与えることで人材登用の道を開き、豪族を官僚に編成した。

2 憲法十七条の制定(604年)

豪族たちに国家の官僚としての自覚を求めるとともに、
(才**仏教**)を新しい政治理念として重んじた。

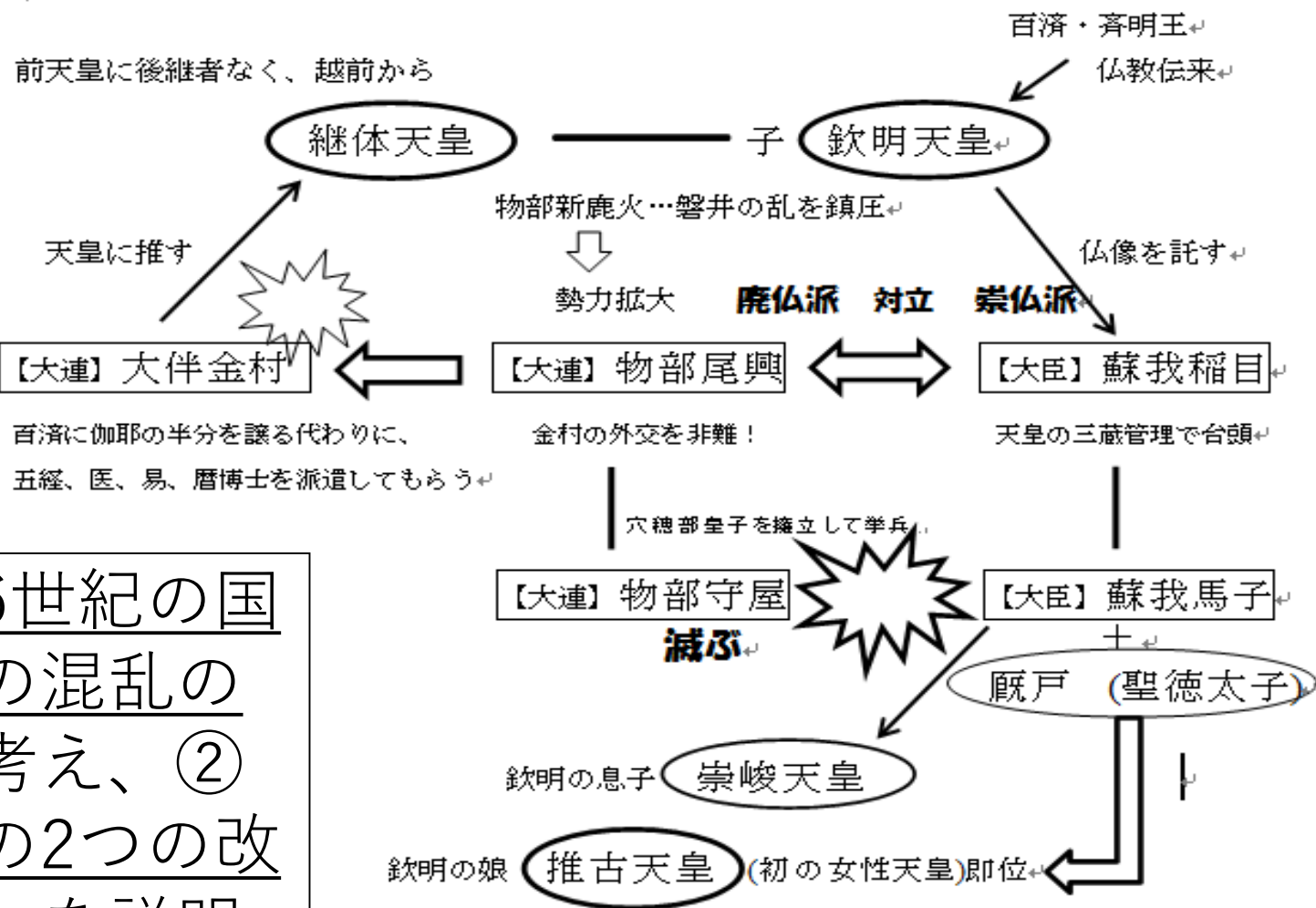
Q. 2つの改革の狙いは？

- ア.豪族単位から、個人単位で大王に仕えさせる。
- イ.国神(日本古来の神)より、蕃神(外国神)「仏」の優位を示し、大王に従わせる。
- ウ.君(大王)と臣の秩序を明確にする。

憲法十七条

一に曰く、和を以て貴しとなし、
忤ふること無きを宗とせよ。
二に曰く、篤く三宝^①を敬へ。
三に曰く、詔^②を承りては必ず謹め。
君をば則ち天とす、臣をば則ち地とす。

(『日本書紀』、原漢文)



2. ①6世紀の国内政治の混乱の原因を考え、②厩戸王の2つの改革の狙いを説明しなさい。

① 【ヒント】豪族たちが……をめぐって……したため、国内政治は混乱した。

② 【ヒント】2つの改革を通じて、3つの狙いに整理する。

3 遣隋使の派遣(607年)

中国との外交は遣隋使の派遣により再開され、『隋書』にみえる600年の派遣に続けて**607年**には(力**小野妹子**)が中国に渡った。

遣隋使の派遣

大業三年^③、其の王多利思比孤^④、使^⑤を遣して朝貢す。使者曰く、「聞くならく、海西の菩薩天子^⑥、重ねて仏法を興すと。故、遣して朝拝せしめ、兼ねて沙門^⑦数十人、来りて仏法を学ぶ」と。其の国書に曰く、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云云」と。帝、之を覧て悦ばず、鴻臚卿^⑧に謂ひて曰く、「**蛮夷の書**、**無礼なる有らば**、復た以て聞する勿れ」と。

『隋書』倭国伝、原漢文)

- ③ 隋の煬帝の年号、六〇七年。
④ 「たらしひこ(足彦)」は男性の天皇につけられる呼び名であるが、どの天皇を指すか不明。
⑤ 遣隋使小野妹子。
⑥ 煬帝を指す。
⑦ 僧侶。
⑧ 外国に関する事務、朝貢のことなどを取り扱う官。

その後…

608年遣隋使 = 高向玄理・南淵請安・僧旻ら留学

→ 帰国後、大化の改新に大きな影響

※618年に隋滅亡→唐王朝

630年第1回遣唐使 = 犬上御田鍬(イカ ミノミタスキ) ら

1 飛鳥の都と文化

6世紀末から、奈良盆地南部の飛鳥の地に本格的な宮都が営まれた。7世紀前半、この地域に仏教を中心とする飛鳥文化が花開いた。



古代飛鳥の王宮

2 寺院の建立

王族や豪族によって**寺院**が次々に建立され、古墳にかわって豪族の権威を示すものとなった。

蘇我馬子	飛鳥寺(法興寺)	氏寺
秦河勝	広隆寺(太秦寺)	
厩戸王(聖徳太子)	四天王寺 法隆寺(斑鳩寺) 中宮寺	
舒明天皇	百済大寺	

※氏寺
氏族の発展と
先祖の追善を
おこなう寺。

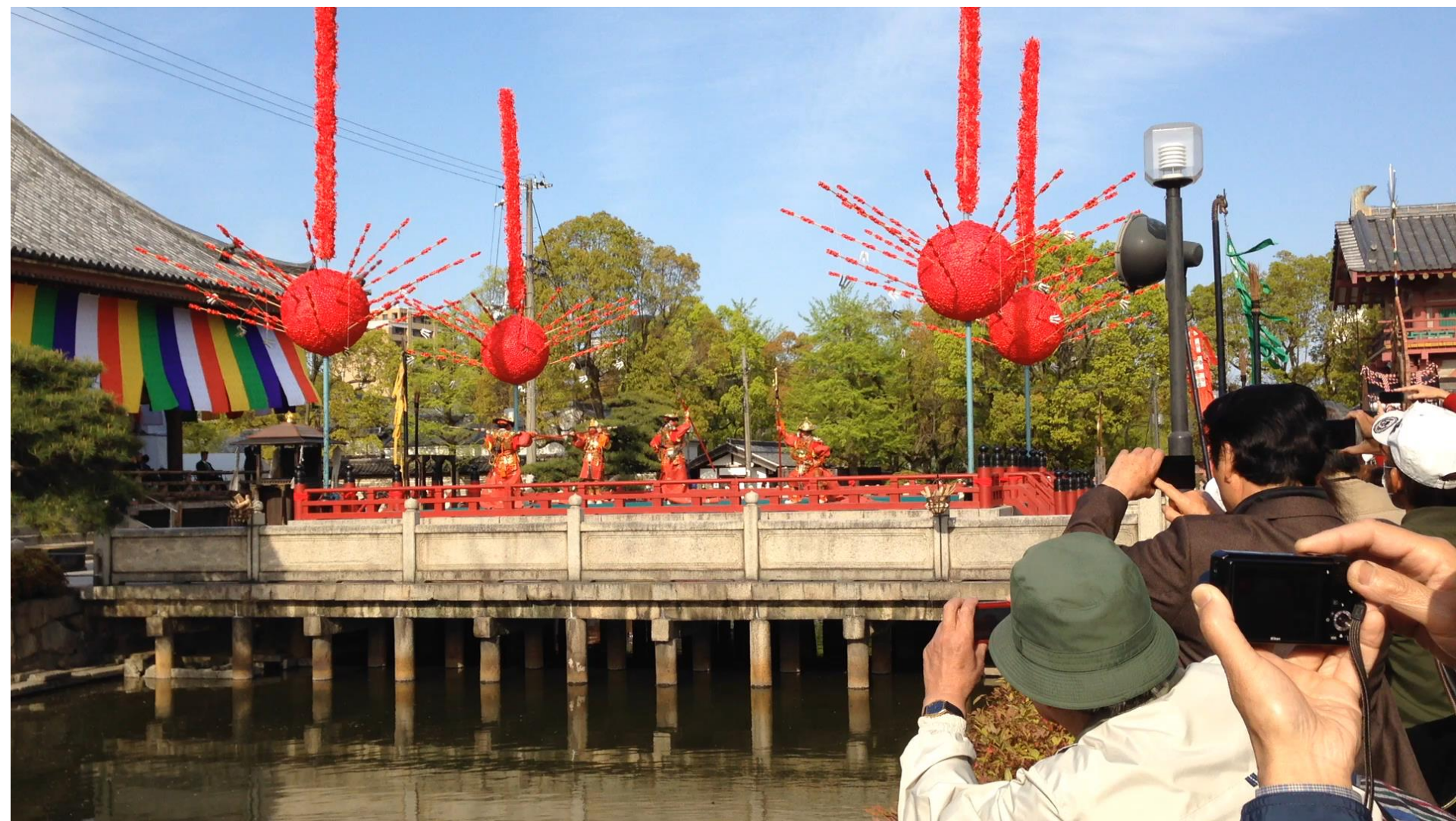


最新の技術↓瓦と礎石



飛鳥大仏 鞍作鳥 作

厩戸王子（聖徳太子）建立 四天王寺





金堂
本尊を祀る

法隆寺五重塔（仏舎利）
世界最古の木造建築





飛鳥文化の国際性 エンタシス

3 飛鳥の仏教美術 資料集p52-p53

仏教彫刻では、整ったきびしい表情の中国南北朝の（キ**北魏**）様式のほか、やわらかい表情の（ク**百済・中国南朝**）様式もある。

彫刻	北魏様式 鞍作鳥(止利仏師)の一派	①飛鳥寺釈迦如来像<金銅像> (飛鳥大仏) ② 法隆寺金堂釈迦三尊像 <金銅像> ③ // 夢殿救世観音像<木像>
	百済・南朝様式 非止利派	④法隆寺百済観音像<木像> ⑤ 中宮寺半跏思惟像 <木像> ⑥ 広隆寺半跏思惟像 <木像>
絵画	⑦法隆寺 玉虫厨子 須弥座絵・扉絵	
工芸	⑧法隆寺獅子狩文様錦 ⑨ 法隆寺玉虫厨子 ⑩ 中宮寺天寿国繡帳 (断片)	

※ ①②は鞍作鳥(止利仏師)の作といわれる

まとめと振り返り

1. 東アジアの動向と蘇我氏の台頭

東アジアの国際的緊張が高まる中、朝鮮半島での影響力が後退したヤマト政権では、物部氏と蘇我氏の対立を経て、推古天皇のもとで厩戸王(聖徳太子)らを中心に国家組織の形成が進められた。

2. 厩戸王(聖徳太子)の改革

厩戸王(聖徳太子)により冠位十二階や十七条憲法が制定され、中央行政機構・地方組織の編成が進められた。また、遣隋使が派遣された。

3. 飛鳥の朝廷と文化

奈良盆地南部の飛鳥の宮都を中心に、仏教中心の文化が花開き、寺院が古墳にかわって豪族の権威を示すようになった。